

王子駅周辺まちづくりガイドライン（案）パブリックコメント実施結果

1. パブリックコメントの概要

- (1) 意見提出期間：令和4年12月12日（月）～令和5年1月20日（金）
- (2) 周知方法：北区ニュース（12/10号）、北区公式ホームページ、北区公式SNS（Facebook、Twitter、LINE）
- (3) 案の閲覧場所：北区公式ホームページ、都市拠点デザイン担当課窓口、区政資料室、各地域振興室、各区立図書館
- (4) 意見提出者数：8名（内訳）ホームページ：7名、郵送：1名
- (5) 意見件数：24件

2. 提出された意見の要旨とそれに対する区の考え方

1. ミッション「駅前を歩行者へ開放」について（10件）		
番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	課題として「駅前広場が狭小であり、歩行者の空間が狭く」「多様な交通手段をつなぐ乗換え動線が錯綜している」と記載されているが、この大きな要因は明治通り・北口駅前広場による南北の分断にある。南北の分断の解消、特に迂回しないバリアフリールート確保を喫緊の課題として取り組むべきであり、これにより交通結節に関する問題の大部分は解決すると思う。	本ガイドライン（案）では、人の移動の中心となる施設や機能である「コネクティング・コア」の形成により分断要素の解消を図っていく方針を示すとともに、戦略3ではバリアフリー乗換えルートの拡充の方針を示しております。また、「先行実施地区」では、王子駅中央口から新庁舎付近の具体の整備内容等を「王子駅前まちづくり整備計画」としてお示ししました。 いただいたご意見のうち北口付近に関する内容につきましては、今後の整備計画改定等の参考にさせていただきます。

番号	ご意見の要旨	区の考え方
2	<p>戦略1について、交通拠点機能の強化は、王子の弱点の克服と優位性の強化を同時に図る最優先課題である。中でも、北口駅前の通過交通を南北貫通道路に流し、駅前広場の歩行者空間を拡充するこの2つのプロジェクトは、歩行者動線を大きく改善する効果が期待できるため、推進して頂きたい。</p>	同上
3	<p>戦略3について、重要なのは駅の南北を結ぶ通路機能である。バスターミナルや都電と地下鉄が南北に分断されている現状があり、さらに区庁舎が明治通りの南側に移転すれば王子駅北口や北とぴあとも南北分断されるため、南北を抵抗なく移動できる分断解消のニーズは一層高まる。</p> <p>従って、王子駅北口と中央口を直結するバリアフリールートは最優先で確保すべきであり、以下の方策を検討すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治通りに北口と中央口を直結する横断歩道・信号を設置する。 ・地下鉄通路を利用し、サンスクエア側にもエレベーターを設置して南北をつなぐ自由通路とする。 	
4	<p>明治通りの南側は一体的にまとまるのに対し、王子駅北口と中央口以南の分断は依然解消されない印象を受けた。バスターミナルや、都電と地下鉄が南北に分断されている現状があり、さらに区庁舎が明治通りの南側に移転すれば王子駅北口や北とぴあとも南北分断されるため、南北を抵抗なく移動できる分断解消のニーズは一層高まる。</p> <p>従って、王子駅北口と中央口を直結するバリアフリールートを最優先で確保し、分断を解消すべきである。南北の動線は可能な限り地上レベルで結ぶことを優先し、明治通りに北口と中央口を直結する横断歩道・信号の設置が最適である。</p>	

番号	ご意見の要旨	区の考え方
5	<p>戦略4について、王子駅は多くのバスが結節しており、乗換経路や案内・誘導サインの設置に関しては、高齢者・障害者等を含む公共交通利用者や、交通事業者の参画も得ながら取り組むべきである。</p>	<p>本ガイドライン（案）では、王子共創のコンセプトのもと、王子に関わる多様な方たちとの連携によるまちづくりを進めていくこととしております。また、北区では高齢者・障害者団体や交通事業者等の参画のもと北区バリアフリー基本構想を策定し、事業推進を図っております。いただいたご意見につきましては、今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>東西の歩行者ネットワークについて、骨格軸と都市基盤図の図を見ると、王子駅中央口付近に対してのこのことのみを指しているように読み取れます。以降の章においても、王子駅南口付近の東西ネットワークについては、明確には謳われていません。</p> <p>王子駅南口についても、飛鳥山公園～王子駅南口～南口ロータリーまでの歩行者回遊性高め、南口経由での高台避難も可能になるよう拡充して頂きたいです。王子駅中央口→飛鳥山公園南口→新庁舎→王子駅中央口を環状的に回遊できるようにすることでより賑わいの創出に繋がると考えます。</p>	<p>本ガイドライン（案）では、人の移動の中心となる施設や機能である「コネクティング・コア」の形成により分断要素の解消を図っていく方針を示しました。</p> <p>南口付近の歩行者ネットワークにつきましては、既存の回遊にぎわいネットワークを生かしつつ、中央口との新たな回遊にぎわいネットワークとつなげていくことで駅周辺の回遊性の向上を図ることとしています。</p> <p>現時点では、南口付近に新たな東西の歩行者ネットワークを構築する考えはありませんが、いただいたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
7	<p>駅前の開放とあるが、駅前には多くの車両が利用しているため、開放するとその車両が別の道などに迂回する可能性がある。滝野川などの方向から堀船や栄町などの方向に車で移動する場合には駅前を経由する場合はほとんどで、その分別の道が混んでしまい生活がしづらくなってしまわないかと不安がある。</p>	<p>本ガイドライン（案）では、新庁舎整備や民間開発等により歩行者空間を創出・拡充し、駅前を歩行者中心のエリアに変貌させる方針をお示ししています。</p> <p>具体的取組みについては、周辺交通への影響等を考慮し、実現性の検証を十分に行いながら進めて参ります。</p>
8	<p>王子駅から飛鳥山公園へ向かうことは多いと思うが、駅から向かうには近い道だとアスカルゴを利用するか階段を利用する必要がある。アスカルゴが点検などで停止していたり、花見のシーズンで混んでいたりと足が不自由な高齢者や小さな子供は乗りづらくなる。階段は少し急であり、階段を上ることはかなり大変だと思うので、現在ある飛鳥山警察署側だけでなく王子駅側にもスロープを設置し、より多くの人に飛鳥山公園を楽しんでもらいたい。</p>	<p>本ガイドライン（案）では、新庁舎と飛鳥山公園を結ぶ「防災・バリアフリーネットワーク」を検討していくこととしております。</p> <p>バリアフリーに配慮しながら、歩行者の回遊性向上にもつながらる歩行者ネットワークの実現に向けて、関係機関等と協議を進めて参ります。</p>

番号	ご意見の要旨	区の考え方
9	<p>王子駅周辺まちづくりにおける先行実施地区(拠点形成エリア)につきまして、ミッションとなっている「駅前を歩行者へ開放」「まちににぎわいを波及」に一段と近づけるため、都電荒川線について王子駅前駅～飛鳥山駅を飛鳥山公園の地下トンネルを通るルートに変更することを提案します。</p> <p>■ 詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> 王子駅前駅は JR 王子駅南口改札前の JR の線路下に交差する位置に移設。・都電荒川線王子駅前駅と JR 王子駅間の道路は歩行者天国に変更。 都電とメトロの乗り換えの距離が延びることに配慮し、地下空間を延長し、南口近くに地下への入り口を設ける。 <p>■ 提案の背景</p> <ul style="list-style-type: none"> JR 王子駅と今回の先行実施地区を分断する最大の障壁は見るからに都電荒川線。この線路、駅がある限り、JR 王子駅から今回の先行実施地区のつながりと賑わいの形成は困難。 <p>■ 直接的な効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央口～南口の間が広い開発可能エリアとなり、新庁舎建設を待たずして、ミッションに近づけられる。 都電のためと思われる明治通りの JR の高架下の信号を撤去し、その分の時間を歩行者の移動にあて、「駅前を歩行者へ開放」に近づける。 都電荒川線の時間短縮となり、利便性が向上する。 	<p>本ガイドライン(案)では、東京さくらトラム(都電荒川線)の併用軌道がつくる王子駅前の象徴的な景観を地域資源のひとつとして位置づけ、王子の顔として地域イメージの強化を図ることなどを「まちの資源を活用」するミッションとしております。一方、「駅前を歩行者へ開放」「まちににぎわいを波及」のミッションを達成するためのプロジェクトとして、「駅前の歩行者の溜まり空間の確保」や「歩行者ネットワークの強化」を位置づけ、具体の整備内容としては、「中央口付近の広場機能確保」や「区道 65 号の歩行者専用化」、「石神井川(都電脇)周辺を歩行者の空間として利活用」などに重点的に取り組んで参ります。</p> <p>いただいたご意見については、今後の整備検討の参考とさせていただきます。</p>

番号	ご意見の要旨	区の考え方
10	<p>王子駅前には北本通りと明治通りで駅前広場が分断され、街の発展を阻害してきたように思います。ミッションとして『駅前の歩行者空間の拡充』、『駅とまちをつなぐ歩行者ネットワークの拡充』など掲げられていますが、幹線道路の再整備が重要だと思います。</p> <p>新庁舎ができることで王子駅前の人の流れが現状以上に多くなると思います。王子駅北口から東武ストア、計画新庁舎への歩行者動線は北本通り、明治通りの両通りを横断していく必要があります。かつ横断歩道の交点部分は歩道も狭く自転車も通り、歩行者にとっては歩きづらいのが現状です。また、中央口からの動線も北本通りのコーナー部にあり、飛鳥山方向へスピードを出しすぎたトラックが横転した例もあり、スピードを出す車両が歩道に向かってくるので歩いていて恐怖感を感じます。</p> <p>まちづくりの戦略のように駅前の歩行者空間の拡充をはかり、（北本通りを現状より北東側に移設）、駅前歩行者空間から東武ストア・計画新庁舎への動線が幹線道路 1 本だけの横断になれば、上記の懸念も解消できると思います。民間の土地も含め事業化には難しい課題もあると思いますが、将来の王子のまちづくりを考えると大胆な計画も必要だと思います。</p> <p>庁舎の完成に向け駅前たまり空間の早期の整備を望みます。</p>	<p>本ガイドライン（案）では、人の移動の中心となる施設や機能である「コネクティング・コア」の形成により分断要素の解消を図っていく方針を示しています。また、「先行実施地区」では、王子駅中央口から新庁舎付近の具体の整備内容等を「王子駅前まちづくり整備計画」としてお示ししました。</p> <p>今後のまちづくり推進に向けて、関係機関と協議等を進めるとともに、いただいたご意見のうち、北口付近に関する内容につきましては、今後の整備計画改定等の参考にさせていただきます。</p>

2. ミッション「まちににぎわいを波及」について (1件)		
番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	<p>服や化粧品が買えたりする若者向けショッピングモールがほしい。今の駅前は全体的に年配の方向けの商品や場所が多い。友達と遊ぶ際にも王子駅が候補に挙がらず、池袋までバスで行く。駅周辺で時間潰せる場所として、ぶらぶら見て回れるようなところがほしい。王子は土地も高く遊べるところがないため、引越先としても別のところが選ばれる。</p> <p>年配の方が多いい町で土地も高いなら、遊べる場所がないと将来王子に住む人が少なくなってしまうと思う。若者向けのショッピングモールや遊べる大きい場所をつくってほしい。</p>	<p>本ガイドライン(案)では、ミッション「まちににぎわいを波及」を掲げ、駅周辺の土地の高度利用の促進等により、商業・業務・文化等の多様な都市機能が集積する「にぎわいと交流の拠点」の形成を図ることとし、戦略5では都市機能が集積した新たな拠点の形成を図ることとしています。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後のまちづくり推進の参考にさせていただきます。</p>

3. ミッション「まちの資源を活用」について (3件)		
番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	<p>戦略8について、重点的な取組み「24 石神井川の水質改善」は周辺住民にとっては最優先で解決願いたい課題である。「関連するプロジェクト：14」との記載があるが、プロジェクト14には空間形成の記載しかない。石神井川の水質、特に臭気の改善は、独立したプロジェクトとして項目建てするか、プロジェクト14の中にわかるように記載願いたい。</p>	<p>まちづくりプロジェクト⑭「水と緑のゆとりを感じる新たな空間の創出」に記載している「うるおいのある空間」は石神井川が水質改善され、居心地のよい空間になることを含むものです。</p>
2	<p>重点的な取組み「石神井川の水質改善」について、石神井川の水質、特に臭気の改善は、周辺住民にとっては最優先で解決願いたい課題である。短期(新庁舎の整備完了まで)で解決できるよう、優先順位を上げるべきである。</p>	<p>水質改善にかかる取組みのなかには、下水道の合流改善対策である初期雨水の貯留施設整備など長期間を要する対策も含まれるため、新庁舎の整備完了以降も取組みを継続する表現としております。短期で実施可能な対策については、関係機関等との協議を踏まえ実施してまいります。</p>

番号	ご意見の要旨	区の考え方
3	<p>飛鳥山公園・都電・音無親水公園・JR王子駅周辺の地区は、策定済みの「北区景観づくり計画」で4つの「景観形成方針地区」がすべてだぶる場所であり、飛鳥山のアスカルゴの隣を都電が走り、その下には音無親水公園が広がり、新幹線とJR王子駅が交差する、まさに北区のシンボルといえる場所である。ここを同計画の「景観形成重点地区」に格上げし、同計画に位置づけて頂きたい。</p>	<p>関連計画である「北区景観づくり計画」では、今後指定する景観形成重点地区について、景観形成方針地区の地域の皆様との話し合いを進めながら、景観意識の醸成を図りつつ、具体的な地区を選定することとしております。</p> <p>王子駅周辺地区につきましては、本ガイドラインに基づくまちづくりの進展や必要性に応じて「北区景観づくり計画」での位置づけを検討いたします。</p>

4. ミッション「安全安心を確保」について (5件)

番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	<p>戦略9について、王子駅南口～梶原電停の都電沿いに主要生活道路の整備が計画されているが、栄町電停の北側にはホームセンターを中心としたショッピングモールができ、この外周に緊急車両も通常できる幅広の道路が整備されたため、この主要生活道路の防災上の必要性は薄くなった。</p> <p>逆に平時にはショッピングモールからの自動車が流入するばかりでなく、南北貫通道路からの車も流入し、生活環境の悪化が予想されるため、主要生活道路の整備は不要である。</p>	<p>戦略9の災害に強い住環境の形成イメージには災害時における緊急車両の通行を確保する主要生活道路の整備を位置付けてはおりますが、具体的な整備箇所については未定です。</p> <p>いただいたご意見を参考に、今後、消防活動困難区域の範囲や市街地状況を勘案して、具体的な防災まちづくりの取組みを検討いたします。</p>
2	<p>戦略10について、災害対応拠点となる新庁舎の建設予定地は、荒川が氾濫した時には1階相当が水没するのみならず、昔から石神井川の氾濫に度々見舞われた場所でもある。水害は宿命と考えるべきで、水没しても災害対策本部として機能するよう、防災計画（風水害編）の見直しと訓練の積み重ねが必要である。</p>	<p>関連計画である「東京都北区新庁舎建設基本計画（案）」では、いかなる自然災害が発生しても業務継続できることを防災拠点機能の方針の一つとして掲げています。</p> <p>北区地域防災計画への反映や訓練等につきましては、新庁舎建設の進捗に応じて検討いたします。</p>

番号	ご意見の要旨	区の考え方
3	<p>新庁舎は現在ある庁舎と違い水害が起こった場合、浸水するリスクがかなり高くなるが、水害が起こった場合対策の拠点はどうするのか示してほしい。</p>	<p>本ガイドライン（案）では、高台と新庁舎を結び、新庁舎の防災拠点機能維持にも資する防災・バリアフリーネットワークの検討を位置付けております。</p> <p>また、関連計画である「東京都北区新庁舎建設基本計画（案）」では、いかなる自然災害が発生しても業務継続できることを防災拠点機能の方針の一つとして掲げ、そのために必要な建築、設備等の性能を確保するとともに、災害の種類や規模に応じて柔軟に役割を変えられるよう、万が一の事態に備え、高台にある防災センター等の代替施設の想定を行っております。</p>
4	<p>将来都市構造について、王子駅南口～梶原電停の都電沿いが「東西防災軸」に位置付けられているが、ここには主要生活道路を整備するのではなく、都電沿線の緑化を進める等、道路以外の手段で延焼遮断帯としての機能を確保することを求める。</p>	<p>「東西防災軸」は、防災性及び災害対応力の強化をするための空間形成を図っていくまちの骨格軸として位置付けておりますが、その事業手法等については未定です。</p> <p>いただいたご意見を参考に、防災性向上に資する取組みを検討してまいります。</p>
5	<p>重点的な取組み「25 脱炭素まちづくりの推進」について、ガイドライン(案)に賛同します。</p> <p>脱炭素社会の実現に向けて、地域社会を構成する様々なステークホルダーと「カーボンニュートラル」「レジリエンス」「地域共創」等の観点から王子駅周辺地域の課題解決に貢献したいと考えます。</p>	<p>本ガイドライン（案）では、王子共創のコンセプトのもと、多様な方たちとの連携によるまちづくりを進めていくこととしております。</p> <p>今後とも、王子駅周辺まちづくりへのご協力をお願いいたします。</p>

5. まちづくりの進め方について (4件)		
番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	<p>「(仮称)王子共創会議」やエリアプラットフォームには、対象地域在住・在勤の区民が広く参加できるようにして頂きたい。新庁舎の建設と王子駅周辺まちづくりは、すべての区民生活に影響する北区最大のビッグプロジェクトであるとの認識を区職員が持ち、対象地域の居住者は当然のこと、区内在住・在勤者の誰もが参加できるまちづくりの意見交換・ワークショップ等の場を設け、丁寧な議論を重ねていくべきである。</p>	<p>本ガイドライン(案)では、「(仮称)王子共創会議」の設置やエリアプラットフォームの構築を位置付けましたが、具体的な参加者は未定です。</p> <p>いただいたご意見を参考に、それぞれの会議体の構成等について検討を進めて参ります。</p>
2	<p>都市計画、建築関連を中心とした各種制度が例示されているが、交通に関して「地域公共交通計画・地域公共交通利便増進事業(地域公共交通の活性化及び再生に関する法律)」を活用して頂きたい。</p> <p>交通拠点機能の強化は、駅前広場のレイアウトと乗換動線だけで解決することは困難であり、王子駅に乗り入れる複数の交通事業者間のダイヤや運賃の調整、バス路線網の再編、自転車・歩行者ネットワークの構築など、周辺の交通網を一体的に整理再編し、公共交通網を再構築する視点で実行する必要がある。同法の基本的な考え方は「事業者が努力し、地域住民・自治体が一丸となって支え、地域ぐるみで公共交通を活性化する取組を国が支援する」という考え方であり、2020年の法改正で全自治体の地域公共交通計画の策定が努力義務化された。同法に基づく地域公共交通計画の策定時に、王子駅の公共交通網の再編を位置づけて頂きたい。</p>	<p>公共交通網の再編については、本ガイドライン(案)の対象範囲よりもより広域の課題であること等からまちづくりプロジェクト等には位置づけていませんが、北区では、地域公共交通に関する考え方や取り組みの方向性を示すマスタープランとして、令和3年3月に「北区地域公共交通計画」を策定しております。</p> <p>本計画では「誰もが安心して快適に移動できるまちをめざし、地域公共交通の充実を図る」ことを基本的な方針とし、コミュニティバスを中心とした「公共交通機能の向上が必要な地域への新たな公共交通の導入」に取り組んでいくこととしております。</p> <p>本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づいたものではありませんが、法定計画の策定の際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>

番号	ご意見の要旨	区の考え方
3	開発のためなら都市計画（地区計画）ですら行政自ら平気で破り、区議会ですらそれを追認する自治体である北区において、地区計画より強制力のないガイドラインをつくっても誰も守らない。せめて地区計画にすべき。	本ガイドライン（案）で提示した整備方針をもとに、今後具体の都市計画や個別事業を推進していく予定です。 いただいたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
4	飛鳥山からの眺望景観を保全すべき。 絶対高さ制限を導入すべき。	整備計画の重点的な取組みの中で、「飛鳥山を中心とした景観形成」として、飛鳥山からの眺望景観の保全等、駅前の高度利用と景観形成の両立を図ることを示しています。 いただいたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

6. その他 （1件）		
番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	戦略とプロジェクトの対応関係が「6.3 まちの将来像実現に向けたロードマップ」を見るまでわからないため、「4.2 まちづくりプロジェクト」は 4.1 の戦略と対応させて記述願いたい。	ご指摘を踏まえ、分かりやすい表現に修正いたします。